

日本骨髄バンクの現状（平成 29 年 12 月末現在）

	11 月	12 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,452	3,010	482,191	723,376
患者登録者数	236	201	3,770	52,702
移植例数	96	85	—	21,488

■12 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	4,171 人
20 代	72,028 人
30 代	138,254 人
40 代	206,577 人
50 代	61,161 人

■12 月の 20 歳未満の登録者 344 人

■12 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,015 人、献血併行型集団登録会／1,905 人、集団登録会／36 人、その他／54 人

■12 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：420 件

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）：1,544 件

■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）：806 件

■国際協力の現状（2017 年 10 月～12 月）

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数：0 件、累計移植数：187 件

<国内ドナー⇒海外患者> 移植数：2 件（KMDP）、累計提供数：266 件

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 平成 29 年移植数およびコーディネート状況

平成 29 年 12 月末現在の累計移植数は 21,488 件（うち PBSCT は 420 件）になりました。平成 29 年 1 月～12 月の移植数は 1,251 件（国内ドナー⇒国内患者：1,245 件、海外ドナー⇒国内患者：1 件、国内ドナー⇒海外患者：5 件）でした。平成 28 年の件数（合計：1,228 件、国内ドナー⇒国内患者：1,219 件、海外ドナー⇒国内患者 2 件、国内ドナー⇒海外患者 7 件）と比べ、総数で 23 件増加し、前年比 102%でした。PBSCT は 165 件で、前年（115 件）と比べて 50 件増加し、前年比 143%でした。

コーディネート件数は、確認検査数が 4,620 件（前年 4,895 件、前年比 94%）、最終同意が 1,508 件（前年 1,518 件、前年比 99%）でした。

骨髄採取のコーディネート期間について、ドナーコーディネート開始から採取までの中央値は 116 日で、前年の 125 日より 9 日短縮しました。また、末梢血幹細胞採取のコーディネート期間の中央値は 103 日で、前年 110 日より 7 日短縮しました。

ご提供いただいたドナーの方々をはじめ、採取施設の担当医師、調整医師の先生方やコーディネーターの方々、その他多くの関係者のご尽力とご協力に感謝申し上げます。

2 平成 29 年ドナー登録者数 34,491 人

平成 29 年 1 月～12 月の新規ドナー登録者数は 34,491 人でした。平成 28 年の 31,918 人に比べ、2,573 人の大幅な増加となり（前年比 108%）、3 年連続で前年を上回りました。

とくに、10 月以降の本格的なテレビ・ラジオ CM と広告展開に伴う木下ほうかさんの AC ジャパン支援キャンペーンの反響はめざましく、ドナー登録者の増加をさらに牽引する結果につながりました。この CM 映像は AC ジャパンホームページでご覧いただけます。

(https://www.ad-c.or.jp/campaign/support/support_01.html)

このほか、それぞれの地域の特色に配慮して、20 代～30 代の人口割合比の登録率向上を後押しする取組みが各地で積極的に進められています（宮城、山形、福島、栃木、京都、和歌山、島根、高知、長崎、沖縄等）。

ご協力いただいたドナー登録者の方々をはじめ、ドナー登録推進にご尽力いただいた説明員の方々、および支えていただきました関係者の方々に厚く御礼申し上げます。今後もよりいっそう若年層のドナー登録の推進が求められています。関係各位のさらなるご協力をよろしくお願いいたします。



3 平成 30 年度国庫補助金 4 億 6100 万円

平成 30 年度造血幹細胞移植対策関係予算案の概要が明らかになりました。骨髄移植対策事業費（骨髄バンク運営費）は昨年比 500 万円増の 4 億 6100 万円となりました。

若年層ドナー獲得のほか、ドナー勤務先等の移植に対する理解を深めるための取り組みを充実させる目的で増額されました。

4 当法人の会議等開催予定

会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	1月19日（金）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	1月28日（日）10時～12時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	2月19日（月）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

5 【安全情報】G-CSF投与(1回目)後、アレルギー反応とそれに伴う一過性の低酸素症を生じた事例について

昨年8月G-CSF投与(1回目)後、消化器症状が出現し、アレルギー反応とそれに伴う一過性の低酸素症を生じて末梢血幹細胞採取が中止となった事例が報告され、緊急安全情報を発出しました。

ドナー安全委員会で審議した結果、再発防止（注意喚起）の観点から、対応を周知することになりました。詳細は別紙をご確認ください。

6 非血縁者間骨髄採取ドナーに対する膀胱留置カテーテル について

非血縁者間骨髄採取術において、膀胱留置カテーテル挿入時に尿道を損傷し、採取後12日目に大量出血した事例が報告されました。本件は留置手技時の確認に問題があったと考えられますが、ドナー安全委員会で今後の対策を検討した結果、骨髄採取ドナーに対する膀胱留置カテーテルについては、「手術時間が長時間に及ばないこと、元来健康な方に対する麻酔であること、近年の早期離床促進などの観点から、必ずしも留置する必要はない」との意見を受け、以下の方針とすることになりました。詳細は別紙をご確認ください。

- ◆方針：骨髄採取ドナーに対する膀胱留置カテーテルは、麻酔科医師あるいは採取担当医師（責任医師）が必要と判断する場合のみ留置する。



7 「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」開催について <医師、HCTCの方へ>

本年 2 月 1 日（木）～ 3 日（土）に札幌市で開催される第 40 回日本造血細胞移植学会総会の会期中、「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」が開催されます（JSHCT主催）。演題については第 40 回日本造血細胞移植学会総会ホームページでご確認ください。

(<http://www.congre.co.jp/jshct40/index.html>)

- ◆開催概要 日時：平成 30 年 2 月 2 日（金）15:35～16:50
会場：ロイトン札幌 第 3 会場 2F エンプレスホール

8 「2018 年全国調査 台帳登録提出のお願い」について <移植施設の方へ>

一般社団法人日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）／日本造血細胞移植学会（JSHCT）から発出された「2018 年全国調査 台帳登録提出のお願い」でご案内のとおり、「台帳登録」の提出がされていないと、原則として移植施設認定の更新が行われません。台帳登録の提出期限は 2 月 20 日までとなっています。必ずご提出くださいますようお願いいたします。詳細は JDCHCT ホームページをご参照ください。（<http://www.jdchct.or.jp>）

9 平成 30 年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定年次調査(旧：更新調査)について <認定施設の医師の方へ>

平成30年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の認定年次調査(旧：更新調査)用資料一式を1月上旬に発送しました。お忙しいところ恐縮ですが、期限内にご返送くださいますようお願いいたします。

- ◆提出期限：1月31日（水）

なお、JSHCT移植診療科の認定年次調査は、第 1 期、第 2 期認定の診療科のみが対象です。

10 平成 30 年度調整医師委嘱更新手続きについて <調整医師の方へ>

マンスリー JMDP 2017年12月号でご案内のとおり、平成30年度も調整医師委嘱更新手続きが必要な先生方には、1月中旬以降順次更新書類を発送します。平成28年度から委嘱期間を1年とし、原則として委嘱期間満了の2カ月前までにお申し出がない限り自動更新となりましたが、以下の場合はドナーコーディネーター部へ別途ご連絡ください。（②は地区事務局へ提出でもけっこうです）

- ① 院内の手続き上、平成30年度以降も更新書類が必要な場合
- ② 異動等のご予定がある場合 ⇒ 同封の「調整医師異動等連絡票」FAXをお送りください。
- ③ 異動先でも活動可能な場合（後日改めて異動先での調整医師委嘱書類を送付します）

11 連絡事項

■コーディネーターブラッシュアップ研修会 <コーディネーターの方へ>

2 月 17 日（土）・18 日（日）に開催する第 22 回コーディネーターブラッシュアップ研修会のご案内資料を同封していますので、内容をご確認ください。欠席のご連絡は地区事務局経由でドナーコーディネーター部までお願いします。（締切：1 月 31 日）

■各種年間データについて

今号では、「コーディネーター件数（月次データ）」の他に、「コーディネーター件数（2017 年実績）」「コーディネーター期間（2017 年実績）」を同封しています。